

校長室から

(R7.1)

～校長の独り言（思いをのせて）～

文責：菅 昌徳

3 学期の始まり

～ そして、2025年のスタート～

令和7年1月8日（水）、本校、分教室でそれぞれに3学期の始業式を行いました。当日の朝は少し寒々しい曇り空に児童生徒の登校を心配しましたが、それぞれのスタイルで登校する姿を見て「約束していた新年の挨拶ができる」と内心ホッとしながら高鳴る思いでつい顔がほころんでいました。始業式を前に子どもたちから「おめでとうございます」「今年もよろしくお願いします」などの挨拶をされ、一層元気が湧いてきました。



「校長先生からの話」と紹介されると思いがあふれ出て大きな声で新年の挨拶をしていました。子供たちは顔を見て私の話しを聞き、元気な声で返事の挨拶をしてくれました。「挨拶してくれてありがとう」「今日、元気に登校してくれてありがとう」という思いが高まり、「みなさん元気ですね」と自然に声が出ました。

休み中、静かだった学校に活気があふれ、3学期をスタートすることができた喜びも高まりました。子供たちの笑顔と笑い声は学校を元気にしてくれます。3学期は、学年のまとめの学期になります。これまでの学びをもう一度思い出し、それぞれが「0年生の自分を完成させよう」を自分のミッションとして「自分づくり」をしてほしいと思います。

今の自分を大切に、未来の自分のために

そして、“ケセラセラ” 今やりたいことから始めよう！！



<お知らせ>



3学期から「それぞれが思いをもって自分らしくはばたこう」という思いを込め、校旗を毎日揚げることにしました。

校旗のはばたく様子を見てそれぞれの思いが高まり、学校生活を楽しく過ごしてくれることを願っています。

